

1. 基本情報

1-1

事業名	環境基本計画の公開				評価者	環境課長 田中 高義	
事業の概要	環境基本計画をホームページに公開する						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	公開	公開	公開	市	環境課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	市HPへの掲載を継続して実施する。
--------------	-------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	市HPへの掲載を継続して実施した。
--------	-------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	今回のような計画書の公開を行う時、閲覧者が高速通信できない環境の場合、閲覧が難しくなる。データの質を損なわない程度にデータ容量を少なくする手法が課題となると考えられる。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

2-1

事業名	医療機関情報提供システムの導入			評価者	保健センター所長 荻野 昌利
事業の概要	医療機関の地理情報をわかりやすく質の高い情報として提供することで、市民の利便性向上を図る。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	運用	運用	市	保健センター

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	1. 運用継続 埼玉県の情報システムは、市内の医療機関に限らず広域的な医療機関の情報が得られるため、当システムを積極的に周知することで市民の利便性の向上を図る。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報ふかや」に毎月掲載し市民に周知した。</li> <li>・市ホームページにリンクをはり、市民が検索できるよう対応した。</li> <li>・「深谷市母子保健事業日程表」に掲載し、広報折込、窓口等で配布した。</li> <li>・「ふっかちゃんの子育てガイドブック」に掲載し乳幼児をもつ保護者へ配布した。</li> </ul>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県のシステムであることから、市ではシステムの変更ができない。</li> </ul>
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種教室、健診、相談等で紹介していく。</li> <li>・関連する啓発物資への掲載をしていく。</li> <li>・広報ふかや、市ホームページ等は引き続き掲載する。</li> </ul>	

1. 基本情報

3-1

事業名	校務支援システムの再構築			評価者	学校教育課長 島崎 祐子
事業の概要	教員の事務負担の軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保するため、小中学校の既存校務支援ソフトをより効率的に利用できるよう、新しいバージョンに更新する。併せて、保護者連絡メールの活用やNetcommonsによる情報発信に積極的に取り組み、「災害に強い学校情報基盤」を構築する。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	更新・運用・検討	運用・検討	運用・検討	市	学校教育課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員用PCの入替及び校務支援ソフトの更新を行う。(小学校12校)</li> <li>・指導要録等を電子化する。</li> <li>・学校HPによる双方向の連絡体制(緊急連絡サイト)の運用を継続する。</li> <li>・クラウドコンピューティングによる校務支援を研究・調査する。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<p>対象としていた小学校12校について、耐用年数に達した職員用パソコンの入替え及び校務支援ソフトの更新を行い、市内全校で指導要録等を電子化することができた。緊急連絡サイトの活用状況の集計・調査を行った。</p>
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	<p>日々、変化しているネット脅威に対し、セキュリティレベルを高める必要があるが、完璧な対応は困難である。また、校務支援ソフトの活用状況に差が生じないよう、セキュリティ対策、システム運用の技術的サポートの対応が必要。</p>
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<理由>	

1. 基本情報

3-2

事業名	小中学校等のICT基盤の拡充			評価者	学校教育課長 島崎 祐子
事業の概要	児童生徒の情報活用能力の育成を図るとともに、ICTを活用した教材提示や児童生徒の発表等、基礎的・基本的な知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力を高める授業を行い、主体的に学ぶ態度を育成するためにICT環境を整備する。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	更新・検討	更新・導入・更改	更新・導入・更改	市	学校教育課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ室PCを入れ替える。(小学校9校)</li> <li>・普通教室プロジェクターを入れ替える。(中学校5校)</li> <li>・児童生徒1人1台及び指導用タブレットPCの整備を検討する。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	対象としていた小学校9校の耐用年数に達したコンピュータ室のパソコンの更新、中学校5校の普通教室用のプロジェクタの入替整備を行った。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	学校ICT環境が多種多様となっているため、全体的な計画整備を行う上で、コンサルタントへの外注も検討しなければならない。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 機器の入替え、導入等を計画的に行っていくが、効果的活用に対する教員研修等の充実により、一層の推進を図っていく。	

1. 基本情報

3-3

事業名	FUKAYA DIGITAL MUSEUMの整備			評価者	文化振興課長 鳥羽 政之	
事業の概要	市収蔵美術品をデジタル化し、市ホームページで公開することで市民の利便性向上及び市収蔵美術品の有効活用を図る					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	教育委員会	文化振興課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	既収蔵美術品のデジタル化の推進とホームページの更新 平成27年1～3月
--------------	-------------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	「人物館」への企画展「深谷にゆかりのある人々PartⅢ このひとをしっていますか？」の情報の追加
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	増加した資料の掲載の推進、ジャンルの追加を検討する。
-------------	----------------------------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	B	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<p>&lt;目標が達成(完了)できなかった理由&gt;</p> <p>既収蔵美術品のデジタル化については、まだデジタル化されていない作品もあるためその作業を進める必要がある。</p> <p>今後は、美術品以外のジャンルを含め、デジタルミュージアムとしてのコンテンツの充実を図っていく必要がある。</p>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<p>&lt;理由&gt;</p> <p>企画展示による資料の公開とデジタルミュージアムの更新を今後も続けていく。</p>	

1. 基本情報

3-4

事業名	郷土資料等検索システムの導入				評価者	図書館長 島田 久一
事業の概要	資料等を項目毎に分類し、検索を容易にすることにより、利用者の利便性を図る。また、レファレンスサービスによる質問事例を紹介し、回答内容、参考資料等を提供する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
		実施	運用	市	図書館	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	レファレンスサービスの資料収集を行う。
--------------	---------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	レファレンスサービスによる質問事項、回答内容等を取りまとめた。
--------	---------------------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	特になし
-------------	------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

4-1

事業名	農業集落排水事業審議会の審議状況の公開			評価者	企業経営課長 菫塚 貴光	
事業の概要	審議会の審議状況を市のホームページで公開し、集落排水の使用料について理解と協力を得る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
		運用		市	企業経営課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	農業集落排水施設使用料について審議会に諮問し答申を得る。
--------------	------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	農業集落排水事業審議会の答申をホームページへ掲載し、使用料の改定について市民の理解と協力を得る。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	なし
-------------	----

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

4-2

事業名	水道管網図の整備			評価者	水道工務課長 田村 清和	
事業の概要	水道台帳管理システム上に管路施設や給水装置など水道管網図を整備することで、管理運営に係る業務の効率化を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	水道工務課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	水道管網図の充実を図り、業務への一層の活用を目的として、不明管等の修正、更新した水道管の書き換え及び新規水道管の入力を随時実施し、現地の水道管とシステム上の水道管との整合を図っている。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	給水管の新規入力件数は1,067件、配水管等の書き換え及び追加については入力を達成しており、計画通り進捗している。その他不明管等の修正については、整備進行中である。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	特になし。
-------------	-------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 窓口業務及び工事の断水作業を中心に本システムの活用が進められ、業務の迅速化が図られていることから、現地とシステム上の水道管状況の整合化に一層の推進を図る。	



1. 基本情報

4-3

事業名	指定道路情報システムの構築			評価者	建築住宅課長 山中 勉	
事業の概要	建築基準法に係る道路について、関連情報を管理・閲覧するためのシステム構築を行い、当該道路の位置、種別が分かる図面(指定道路図)及び調書を作成する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	建築住宅課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	建築基準法に係る道路の関連情報の安定的な事務処理を実現するために運用の継続と保守を行う。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築概要書データ更新</li> <li>・建築相談、道路位置指定データ更新</li> <li>・システム保守</li> </ul>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	サーバー本体の設置場所の環境が不十分であり、エラー障害が発生すると修復に時間を要し、事務が滞る。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> システムについては、窓口業務に大きな支障をきたすトラブルもなく遂行している。今後、統合型システムへの移行も視野に、より良い業務の遂行を目指していく。	

1. 基本情報

4-4

事業名	土地区画整理事業施行区域の提供			評価者	区画整理課長 中島 隆
事業の概要	市の区画整理事業における区域を図面に反映させ、他の事業担当者が区画地域を把握することにより同じ行政内での横の連携を向上させる。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	実施	継続	継続	市	区画整理課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	区域を図面に反映させ、区画地域を他の事業担当者にも把握できるようにする。
--------------	--------------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	区域を図面に反映させることにより、区画区域を他の事業担当者が把握できることから現状のまま継続する。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	事業の進捗状況により、図面に反映させるため影響がでる場合もある。
-------------	----------------------------------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	B	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由> 概ね市内情報化の推進が図られたが、情報セキュリティポリシーに基づきいっそう推進を図りたい。	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> より一層の市内情報化の推進を図る	

1. 基本情報

4-5

事業名	道路アセットマネジメントシステムの導入			評価者	道路管理課長 今井 吾郎
事業の概要	道路施設の予防安全管理に係るシステムを導入し、事故の未然防止による市民の安全を図るとともに効率的な管理による道路施設に係る費用の削減を図る。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	運用	運用	市	道路管理課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	平成25年度に実施した橋梁の点検・設計・修繕等の情報を橋梁台帳システムに更新し、効率的な管理を図る。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	平成25年度に実施した橋梁の点検・設計・補修等の情報を橋梁台帳システムに入力し、情報を更新した。 ・補修、補強設計 6橋 ・点検 32橋 ・交通量調査 6橋 ・修繕 2基
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<b>評価の目安</b> A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 点検・設計・修繕などを実施した情報をシステムに正確に入力することにより、最新の橋梁状況を確認することができ、事務改善につながっていることから、今後も継続して活用する。	

1. 基本情報

4-6

事業名	工事箇所情報の提供			評価者	契約検査課長 村尾 厚彦	
事業の概要	市が行う工事の地理情報を市民向け地理情報システムを利用して、わかりやすい情報として提供することで、工事箇所周辺地域の理解・協力を得ると共に、道路上における工事については、道路利用者の利便性の向上を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	契約検査課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	契約金額500万円超の工事について、工事情報を深谷市ホームページに継続的に随時掲載することで、市民生活への影響を緩和し、工事箇所周辺住民の理解と協力を得る。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	平成26年8月:深谷市ホームページ掲載更新 平成27年1月:深谷市ホームページ掲載更新 平成27年2月:深谷市ホームページ掲載更新
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 市ホームページへのアクセス件数も多いことから、道路等利用者の利便性向上に寄与していることと公共工事への理解が深まっていることが伺える。引き続き情報提供を行い、閲覧者の増加を促し市民生活への更なる影響緩和を図りたい。	

1. 基本情報

5-1

事業名	防災行政無線更新事業			評価者	総務防災課長 石川 雅一	
事業の概要	防災行政無線は、老朽化による更新時期であるとともに、国の周波数政策によってデジタル化への移行が必須となっているため、平成26年～28年の3箇年の継続事業として防災行政無線のデジタル化への更新を実施する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	更新	一部運用	一部運用	市	総務防災課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎親局設備改修工事を行う。</li> <li>・消防本部非常用親局設備改修工事を行う。</li> <li>・屋外子局設備工事を行う。</li> </ul>
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防本部に親局設備、本庁舎に遠隔制御局設備を整備するよう、設計を修正する。</li> <li>・屋外子局空中線柱100基の作製。</li> </ul>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	既設の屋外子局設備更新に加えて、難聴地域解消のため、新たに子局を増設するにあたり、建柱候補地周辺に市有地がない場合、民地の土地所有者との用地交渉が必要となる。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	B	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<p>&lt;目標が達成(完了)できなかった理由&gt;</p> <p>新庁舎建設の決定に伴い、消防本部に親局設備、本庁舎に遠隔制御局設備を整備するよう設計を修正したことにより、当初予定よりも工事の進捗が若干遅れている。</p>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<p>&lt;理由&gt;</p> <p>防災行政無線は、災害時において情報伝達をする際の重要な手段であることから、本更新事業を継続して実施する。</p>	

1. 基本情報

5-2

事業名	交通安全施設維持管理システムの導入			評価者	道路管理課長 今井 吾郎	
事業の概要	地域住民が安全に安心して暮らせるまちづくりの施策の一環として、道路反射鏡、道路照明灯等の設置場所、形態、種別、管理番号等のデータ化を図り台帳を整備することにより、維持管理及び問い合わせ対応等を円滑にかつ的確に行い、道路交通における安全性の向上を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	道路管理課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	平成24,25年度に登録情報の変更があった、道路反射鏡及び道路照明灯の交通安全施設情報を更新し、市民からの問い合わせ対応等に迅速に対応する。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	平成24,25年度に登録情報の変更があった、道路反射鏡及び道路照明灯の変更情報を入力し、情報を更新した。 ・道路反射鏡…155基 ・道路照明灯…236基
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<b>評価の目安</b> A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 新規設置や修繕、引継などの情報の更新業務を正確に入力することにより、より情報管理が容易になり事務改善につながっていることから、今後も継続して活用する。	

1. 基本情報

5-3

事業名	消防団協力事業所表示制度情報の提供			評価者	消防総務課長 大谷 政春	
事業の概要	消防団協力事業所表示制度について市ホームページで情報提供し、事業所における消防団活動への理解・協力を得る。また、消防団員の確保とともに活動環境の整備を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	消防総務課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	各事業所との協力体制及び団員確保の構築、地域防災力の更なる維持・向上に努める。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	当初の計画通り各事業所と連携し、団員確保及び地域防災力の維持・向上を努めることができた。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

5-4

事業名	予防業務管理システム				評価者	副参事兼予防課長 金子佳郎
事業の概要	各種届出書類等をスキャンし電子化するとともに、各署所間において情報の共有化を行ない、予防査察業務の向上を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	導入・更改	運用	運用	市	予防課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	消防予防台帳等電子化システムハードウェア更新にかかるリース契約(7月)年間を通じ、申請及び届出された書類をスキャンする。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	消防予防台帳等電子化システムハードウェア更新にかかるリース契約(7月)年間を通じ、申請及び届出された書類をスキャンする。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	特になし。
-------------	-------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>



1. 基本情報

6-1

事業名	安全・安心な農畜産物情報の提供			評価者	農業振興課長 吉場 厚仁	
事業の概要	市内で生産される主要な農畜産物(野菜、畜産、花卉等)の情報及びそれを使用した料理方法、購入方法等を市ホームページで情報提供し、農畜産物の消費拡大を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	農業振興課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県が実施している放射性物質の農産物等への検査の結果を市ホームページに掲載する。</li> <li>市産農畜産物の消費拡大に向けたPRを市ホームページに掲載する。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふっカーゴの専用ホームページを作成し、農作物のPR活動を掲載した。</li> <li>丸系八つ頭の情報を掲載し、深谷の特産物のPRを行った。</li> <li>埼玉県が実施している放射性物質の農産物への検査結果を掲載した。</li> <li>深谷市が実施している主要農産物の残留農薬の検査結果を掲載した。</li> <li>クックパッドのふかやごはんにレシピを掲載した。</li> </ul>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	B	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

6-2

事業名	アグリ・ハローワークによる不耕作農地情報の提供			評価者	農業委員会事務局次長 濹澤 武雄	
事業の概要	不耕作農地情報及び農地法申請方法を深谷市のホームページ(アグリ・ハローワーク)に掲載し、適宜内容の追加・変更を行い、農地をもとめているあらゆる方へ最新の情報を提供する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	実施	運用	運用	市	農業委員会	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の不耕作農地を掲載する。</li> <li>法改正に伴う様式等を変更する。</li> </ul>
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>不耕作農地等に係る意向アンケート調査等を反映して、最新の不耕作農地情報を掲載している。</li> <li>農地法に係る届出・許可申請書を掲載し、申請者の利便性を図っている。</li> <li>前年度の農地平均賃借料を掲載し、賃貸借の参考として、情報の提供を行っている。</li> </ul>
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	<ul style="list-style-type: none"> <li>不耕作農地等の所有権の移転や権利設定について、速やかに最新の情報提供を図ること。</li> </ul>
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 平成25年の農地中間管理機構関連2法に伴う農地法の改正で、農地台帳と地図の電子化と公表が法定化されたことによるシステム改修を行った。今後も継続して情報提供を図っていく。	

1. 基本情報

7-1

事業名	Webアクセシビリティに配慮したホームページの構築			評価者	秘書課長 青木 克尚
事業の概要	JIS規格に準拠し、ホームページのアクセシビリティを高める				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	運用	運用	市	秘書課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	CMSを導入し、ホームページのリニューアルを行う。JIS規格に準拠してサイトを構築し、アクセシビリティを高める。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	平成26年3月にCMSを導入、ホームページのリニューアルを行った。JIS規格に準拠してサイトを構築し、アクセシビリティを高めた。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	リニューアル後のアクセシビリティの維持
-------------	---------------------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 今後も継続してホームページのアクセシビリティの維持につとめる。	

1. 基本情報

8-1

事業名	メール配信サービスの導入			評価者	秘書課長 青木 克尚	
事業の概要	市からのお知らせ、災害・防災情報、防災行政無線情報、火災情報などの情報提供を希望する市民のパソコンや携帯電話などに随時メールを配信する。カテゴリ登録制にすることにより、登録した情報のみの提供を可能にする。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	秘書課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	継続して配信していくとともに、登録者の増加、配信内容の拡充を図る。
--------------	-----------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<p>平成26年度メール配信件数=326件</p> <p>【登録者を増やすための取り組み】</p> <p>① 広報ふかや裏表紙に継続的にメール配信PRを掲載</p> <p>② PRチラシの配布と利用者への登録設定方法の周知</p> <p>③ 市内携帯電話キャリアショップ(3店舗)にPRチラシを設置依頼</p>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	登録者の増加と配信内容の拡充
-------------	----------------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<p>&lt;理由&gt;</p> <p>今後も継続して配信していくとともに、登録者の増加、配信内容の拡充を図る。</p>	

1. 基本情報

8-2

事業名	広聴機能の充実			評価者	秘書課長 青木 克尚
事業の概要	市長への手紙等で寄せられた質問に対する回答趣旨をデータベース化し、市ホームページに掲載する。掲載された情報を市内部や市民間で共有し、市民ニーズを反映した市政運営を図る。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	運用	運用	市	秘書課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	市長への手紙について、市ホームページへの掲載許可のあるもののうち、市民に広く周知する必要性が高いものについては、市ホームページに掲載する。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	市長の手紙について、掲載許可のあるもののうち、市民に広く周知する必要性が高いものについては、市ホームページに掲載した。 また、要望等の内容及び回答についても市ホームページに掲載した。 市民から寄せられた意見については、対応できるものは、即時対応したほか、検討を進めるなど市政運営への反映に努めた。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	市民から寄せられた意見を市政運営に反映するように努め、その結果を可能な限り、市ホームページに掲載し、広く市民に周知しているが、意見を寄せてくださる方の掲載許可がないものが多く、掲載できる案件が少ない。 また、個人的なご意見が多く、市政全体、市民全体の関する案件が少ない。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由> 既存の「市長への手紙」のほか、広聴機能の充実として、「ホームページからの問い合わせ」を拡充するとともに、陳情、請願を受理し、計画期間中に「市長訪問対話会」などを開催することにより、市民の意見を市政運営に反映できたことからA評価とした。	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 今後も継続して市長への手紙等で寄せられた質問に対する回答趣旨をデータベース化し、市ホームページに掲載する。ホームページに掲載された情報を市内部や市民間で共有し、市民ニーズを反映した市政運営を図る。	

1. 基本情報

8-3

事業名	e-モニター制度の導入			評価者	秘書課長 青木 克尚
事業の概要	パソコンや携帯電話のメール機能を活用し、市からアンケートや情報を発信し、市民に回答を依頼する。幅広い市民の声を収集し、その声を市政へ反映する。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	運用	運用	市	秘書課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	市民の意見を聴取し、さらなる市民とのコミュニケーションを図るため、e-アンケートを実施する。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	市が実施するメール配信サービス登録者(約6,551人)のうち、アンケート登録者(約2,040人)を対象に市民の意見を徴収し、さらなる市民とのコミュニケーションを図るため、e-アンケートを実施した。 平成26年度は、「広報ふかやについて」、「住宅警報器の設置について」、「市営駐輪場の今後の在り方について」、計3件を実施したところ、630件の回答があった。 アンケート結果については、ホームページに掲載した。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	平成22年度から本格実施を始め、年間の実施回数目標を4回～6回としてきたが、アンケートの題材が見つからない時もあり、年度により実施回数にバラつきがあった。 全部署に対して、e-アンケートの活用を推進しているが、実施回数が伸びない状況が続いている。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	B	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由> 全部署に対して、e-アンケートの活用を推進しているが、アンケートの題材が見つからないことなど、年度により実施回数にバラつきがある。しかし、他の広聴手段を実施することで、市民の意見を聴取し、市政への反映に努めることができたことから、B評価とした。	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 今後も引き続き、広聴手段のひとつとしてe-モニター制度(アンケート)を実施し、情報収集に努めていく。	

1. 基本情報

8-4

事業名	財政状況の公開			評価者	財政課長 及川 勝隆	
事業の概要	総務省方式改定モデルによる財務4表を整備することにより、資産や負債のストック情報や行政サービスを提供するために発生した現金以外のコスト情報を開示する。 また、予算編成過程を公表することで、市民に開かれた透明性の高い市政運営を推進する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	実施	運用	運用	市	財政課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書、決算書の公開</li> <li>・健全化判断比率、財務4表の公開</li> <li>・予算編成過程の公開</li> </ul>
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書、決算書の公開</li> <li>・健全化判断比率、財務4表の公開</li> <li>・予算編成過程の公開</li> </ul>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	平成27年1月に、総務省より要請があり、平成27年度から平成29年度の3年間(平成30年3月末まで)で総務省の示す統一的な基準による財務諸表の作成をすることになっている。また、整備促進のため平成27年度に国から標準的なソフトウェアの無償提供が予定されている。国の動向を注視し、整備に向けた体制やスケジュールについて検討する必要がある。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-5

事業名	財務会計システムの導入			評価者	財政課長 及川 勝隆	
事業の概要	予算・執行・決算の各情報が連動する財務会計システムを構築し、事務処理の効率化・円滑化を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	財政課 (会計課) (契約検査課)	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	平成25年度決算処理を円滑に進めるとともに、安定的な事務処理を維持するために運用支援を継続する。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	システム運用保守による安定稼働の確保 業者情報の更新(追加申請分) 契約管理システムの運用支援 検査システムの運用支援
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	平成26年10月にクラウド化を実施し、サーバーの維持管理の軽減が図られ、業者とともに迅速な対応をしていく体制が構築されたが、軽微なシステムの不具合が度々発生している。深刻なシステムの不具合が発生しないように、業者とともに取り組んで安定稼働を目指す。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> システム全般については、大きな支障もなく、おおむね順調な運営ができています。今後についても業者との連携を密にし、エラー発生時の対応やプログラムの改善等、速やかな対応を実施し、より良い運営に努めてまいります。	



1. 基本情報

8-6

事業名	公共施設予約システムクラウドサービス				評価者	財政課長 及川 勝隆
事業の概要	平成26年度より公共施設予約システムクラウドサービスを導入し、パソコンや携帯電話からの公共施設の空き状況照会及び予約申込み等のより良い利便性を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	導入	運用	運用	市	財政課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	クラウドサービス導入後の、不具合等を検証する。 システムの円滑な運用のために、保守やシステムメンテナンス等を行うほか、使いやすいシステムにするために、利用者や窓口職員の意見を聞きながらシステムの修正等を検討していく。また、随時対象施設の追加等も検討していく。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	システムの不具合について、随時、迅速に対応を行った。 窓口職員からの要望により、システムの一部修正を行った。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	現在対象とされていない公共施設について、今後対応すべきか検討する必要がある。 クラウドサービス導入から日が浅いので、不具合について随時対応が必要となる。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由> 各施設の改正等に伴い、随時システムの変更を行い、対応することができた。	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-7

事業名	社会保障・税番号制度に係るシステム検討				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	番号制度導入に係るシステム改修に関する検討を進める 各課の個別システム対応方針に従い調整準備を進める						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	検討・更新	検討・更新	運用	市	企画課・情報システム課・関係課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>番号制度導入を踏まえ、市民にとって利便性の高い情報システムに関する調査、研究を行う。</li> <li>基幹システムの仕様検討、調整、改修を行う。</li> <li>個別システムの仕様検討、調整、改修を行う。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	深谷市社会保障・税番号制度導入検討委員会を設置し、事務局として県・国等関係機関との連絡窓口を担当した。 基幹システムのシステム仕様を検討した。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	平成28年のマイナンバー導入に対応するのみでなく、その後継続的に運用する枠組みを構築する必要がある。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

8-8

事業名	電子入札システムの導入			評価者	契約検査課長 村尾 厚彦	
事業の概要	埼玉県と県内市町村で共同運用しているインターネットを利用した電子入札システムを導入し、入札に係る一連の業務を電子化することにより業者の利便性向上と入札事務の効率化を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	導入・実施	運用	運用	市事業者	契約検査課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	設計金額130万円を超える建設工事等の入札は、原則電子入札で実施する。
--------------	-------------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	電子入札の実施 340件
--------	--------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

8-9

事業名	地理情報システム(GIS)の更新				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	各課が保有する地図に関する情報を庁内で共用・活用できるシステムを再構築し、また、GISの活用推進のために必要な支援体制を確立し、迅速な窓口対応、業務の効率化・省力化、情報共有を推進する。市民向けGISとして、市民サービスの向上に寄与できるシステムを目指す。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	導入・更改	運用	運用	市	情報システム課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム更改を準備する。</li> <li>・システム構築、導入テスト、受入テスト、データ移行、使用、運用ルールの方針を策定を行う。</li> <li>・運用を開始する。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<p>新システムを導入するため、RFP(Request For Proposal)を実施し、深谷市にとって最適なシステムを導入することができた。</p> <p>運用ルールを策定した。</p> <p>運用を開始した。</p>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	<p>GISを活用するため地図データの継続更新が不可欠であるが、職員の育成に時間がかかる。</p> <p>導入後も、継続して操作研修や個別研修を行いGISを活用する職員と範囲を広げる必要がある。</p>
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<理由>	

1. 基本情報

8-10

事業名	ICT人材の育成				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	情報担当部門職員を養成するとともに、業務担当部門においてはITリーダーとなる職員を養成し、職場での活動を通じ、職員全体の情報リテラシーの向上につなげ電子自治体の推進を図る。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	検討・運用	運用	運用	市	情報システム課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITリーダー研修を実施する。</li> <li>地方自治情報センター、埼玉県(電子自治体推進会議)の主催するIT人材研修に参加する。</li> <li>職員のITレベルに応じたパソコン操作研修を検討する。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<p>業務担当部門に対しては、4月にITリーダーを任命し、5月にITリーダー研修を実施した。情報担当部門職員8名は、地方公共団体情報システム機構や埼玉県(電子自治体推進会議)の主催するIT人材育成研修に参加した。1月にパソコン操作研修を実施した。</p>
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	ITリーダーの養成について、IT技術の進歩が早いことや人事異動によるITリーダーの変更があり、計画的な育成が困難である。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<理由>	

1. 基本情報

8-11

事業名	情報システム資産台帳の整備			評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	ICTガバナンスを維持するために、各システムの現状(ハードウェア・ソフトウェア等の採用技術・製品、利用状況、運用経費等)を一元的に把握し、全体から見た各システムの位置づけが確認できる情報システム資産台帳の充実を図り、システム全体最適化や情報セキュリティを推進していく。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	実施	実施	実施	市	情報システム課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	情報システム資産台帳を整備する。 公用USBの棚卸。 外部記憶媒体の接続状況の把握。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	OA調査やソフトウェア利用承認申請時等にOA台帳を更新し、日々整理している。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	一元管理をするための情報を各課から提供してもらわなければ、最新の台帳を整備する事が難しく、その連携方法や伝達方法をいかに整備するか、運用体制を確立するかが課題である。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-12

事業名	インターネット接続機器の更新				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	インターネット接続サーバの老朽化による更新 安定したインターネット通信を可能にするため、定期的な機器の入れ替えを行う。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	導入・更改	運用	運用	市	情報システム課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	・インターネット接続機器を更改する。
--------------	--------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	5月にインターネット接続機器の更改を実施した。以降、安定した稼働を続けている。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	セキュリティ技術等の情報を収集し、セキュリティ上の脅威に対し、インターネット接続機器で講じられる対策を継続して検討していく必要がある。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-13

事業名	LGWAN接続機器の更新				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	LGWAN回線接続用サーバの更新 安定したLGWAN通信を可能にするため、定期的な機器の入れ替えを行う。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	導入・更改	運用	運用	市	情報システム課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	・LGWAN接続機器を更改する。
--------------	------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	9月にLGWAN接続機器の更改を実施した。以降、安定した稼働を続けている。
--------	---------------------------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	今後LGWAN回線を使用した業務が増えるため、インターネットや基幹系ネットワークを含め安全で効率的なネットワーク設定を検討していく必要がある。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	



1. 基本情報

8-14

事業名	グループウェアシステムの更改				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	庁内の情報共有を円滑に行うため、グループウェアシステムの更改を行う。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	運用	導入・更改	運用	市	情報システム課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	・運用保守を行う。
--------------	-----------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	グループウェアを安定稼働させ、適切なサービスを提供した。 次期システム調達に向けデータ連携できるシステムを洗い出し、関係課と統合調達にむけて調整した。 グループウェア及び統合調達するシステムについて、情報収集(RFI)を行った。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-15

事業名	全庁的な推進体制の整備			評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	全庁的に一体となって情報化を推進するため、庁内横断的な推進管理体制を構築し、また、PDCAサイクルを基に、情報化に関する各施策の進行管理を行い、効果的かつ効率的な情報施策の実現を目指す。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	情報システム課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルに基づく管理体制を構築する。</li> <li>システム調達基準の整備、見直しを行う。</li> </ul>
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	<p>情報化基本方針に基づき、平成27年度から平成29年度の情報化実施計画を策定した。平成25年度の情報化実施計画の進捗調査を行った。システム調達基準に則り、導入・公開予定システムの評価を行った。</p>
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	策定した情報化実施計画について、今後進捗管理を行っていく必要がある。
-------------	------------------------------------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	<p>評価の目安</p> <p>A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続)</p> <p>C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)</p>
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	<p>A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討)</p> <p>C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)</p>
	<理由>	

1. 基本情報

8-16

事業名	セキュリティ研修計画の策定			評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	セキュリティ研修の量的拡大とともに、研修内容などの質的な向上を図るためセキュリティ研修計画を策定する。また、研修後のフォローアップなど、研修内容を日常業務で活かすことができる取組みを進める。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	情報システム課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ研修を実施する。</li> <li>・情報セキュリティ対策を評価、改善する。</li> <li>・情報セキュリティ研修計画を作成する。</li> </ul>
-------------	--

3. 平成26年度の取組み状況

取組み状況	平成26年度研修(新規採用職員研修、情報セキュリティ管理者研修(課長)、個人情報保護事務研修、3年目職員研修、一般職員向けセキュリティ研修(eラーニング))を実施した。平成27年度研修計画を作成した。
-------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	情報技術は日々進化しており、情報セキュリティ研修においては、その都度適切な内容を盛り込んでいく必要がある。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

8-17

事業名	セキュリティ監査の充実			評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	セキュリティ対策に関する内部監査を実施する。また、効果的・効率的なセキュリティ監査の仕組みづくりを進め、さらなるセキュリティ対策を強化するとともに、外部の専門機関による監査の実施を検討する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	運用	運用	運用	市	情報システム課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	情報セキュリティ監査を実施する。 情報セキュリティ対策を評価、改善する。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	情報セキュリティ監査を実施 全所属の全体的なセキュリティレベルチェック及び、個別システム(54システム)のセキュリティ運用チェックを書面で行い、9所属について現地監査を行った。 監査結果を基に、次年度の情報セキュリティ研修計画を作成した。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	外部からの情報セキュリティに係る脅威は、日々新種が発生しており、完璧な対応を行うことは困難である。情報セキュリティレベルの維持は、技術的なセキュリティ対策に加え、人的な対策、両面からの対応が必要である。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-18

事業名	総合行政システムの運用				評価者	情報システム課長 吉岡 優孝	
事業の概要	住民基本台帳、税などの21システム、福祉関係業務の11システムを安全に運用する。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	運用	運用	運用	市	情報システム課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	総合行政システム機器保守、ソフトウェア保守、ネットワーク保守、周辺機器保守及びシステム維持を行う。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	毎月1回AGS, コンサルと定例会を開催し、総括的な状況確認及び改善を行っており、障害等として発生した事項については、AGSに原因の分析、改善の指示を行い、他業務への水平展開を図ることにより同様な障害等の再発防止を行っている。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	システム及び機器等に深刻な障害が発生しないように、業者とともに迅速な対応を行える体制を構築し安定稼働を目指す。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-18

事業名	総合行政システムの運用			評価者	障害福祉課長 河田 享子	
事業の概要	障がい者自立支援給付システムの再構築： 障害者総合支援法の改正に伴い、制度改正後の運用に支障がないように既存システムの内容を変更する。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	更新	運用	運用	市	障害福祉課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	障害者総合支援法の改正に伴い、既存システムの内容を変更する。
--------------	--------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	制度改正パッケージを適用し、制度改正後の運用に支障のないよう対応した。
--------	-------------------------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-18

事業名	総合行政システムの運用				評価者	保育課長 成瀬 哲也	
事業の概要	子ども・子育て支援新制度電子システムの構築： 平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づき平成27年4月から実施が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の業務を円滑に行うための電子システムを構築し、導入する。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	導入・更改	運用	運用	市	保育課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを構築する。</li> <li>・支給認定・確認関係システムの運用を開始する。</li> </ul>
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	導入に向け準備を進め、年度末までに導入できた。
--------	-------------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	平成27年度より子ども・子育て支援全国総合システムと必要に応じて連携する必要がある。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

8-19

事業名	住民票の写し等のコンビニ交付				評価者	市民課長 松村 一	
事業の概要	コンビニエンスストアで住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等の証明書を交付する。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	検討	検討	検討	市	市民課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	マイナンバー制度導入後、検討する。
--------------	-------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	マイナンバー制度実施後のコンビニ交付の導入に関する情報収集に努めた。
--------	------------------------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	コンビニ交付導入には初期経費、継続経費が掛かるため、コストに見合うメリットが本当にあるのか、費用対効果を踏まえ検討する必要がある。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	B	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由> 当初から平成26年度は「マイナンバー制度導入後、検討する」という計画であったため。	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	B	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 平成27年10月5日にマイナンバー法施行を予定しており、制度導入後の状況を踏まえコンビニ交付の実施について検討していく。	



1. 基本情報

8-20

事業名	地方税ポータルサイト(eLTAX)の導入			評価者	市民税課長 小林 毅	
事業の概要	地方税電子化協議会が構築する全国標準の地方税ポータルシステムを導入することにより、インターネットでの地方税の電子申告が可能となり納税者の利便性向上と事務の効率化を図る。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	継続	継続	継続	市	市民税課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	平成21年度に地方税電子化協議会が構築する全国標準の地方税ポータルシステムを導入した。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	継続して運用している。
--------	-------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	継続して運用している。
-------------	-------------

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

8-21

事業名	税務地図情報システムの更新				評価者	資産税課長 真下 智己	
事業の概要	本システムは、深谷市内における固定資産税課税客体(土地・家屋)等の的確な把握を支援することにより、照会、調査、評価等の固定資産税事務の正確化、効率化及び迅速化を図る。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	運用開始	運用	運用	市	資産税課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	税務地図情報システムの保守管理
--------------	-----------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	年間を通して本システムの保守管理を行い、不具合等を未然に予防し、固定資産税課税事務の円滑な遂行を支援した。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針		A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>	

1. 基本情報

8-22

事業名	公金収納形態の多様化の検討				評価者	収税課長 島崎 賢二	
事業の概要	市が扱う公金収納方法として口座振替、コンビニ収納の他にクレジットカード、ペイジーなど利用者の利便性向上や収納率向上につながる公金収納形態の調査及び導入を検討する。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	実施	実施		市	収税課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	クレジット収納、ペイジーの導入について、導入・運営に係る費用等、調査・研究を行う。
--------------	---

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	公金クレジット収納サービスを行う企業の官公庁向けセミナー及び日本マルチペイメントネットワーク推進協議会が開催したペイジーセミナーに参加し、先進市の視察を行った。また、システム改修・ランニング費用について調査した。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	新たな収納方法を導入する場合、既存の収納管理システム等を改修する必要があるが、改修費用が高額。また、導入後のランニング費用も、収納方法によっては高額となる。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> これまでの調査を踏まえ、導入について平成27年度中に費用対効果の観点から検討する。

1. 基本情報

8-23

事業名	生活保護システム改修事業			評価者	次長兼生活福祉課長 原 常博
事業の概要	生活保護の施行事務の迅速化を目的とする。生活保護事務の中で、現業業務担当では開始、変更等の各種処理における複雑な計算及び書類の作成、医療担当では医療券及び介護券等の発行及び医療に関するデータの管理、経理担当では被保護者調査(月次・年次)等の膨大な事務処理があり、これらの内部的事務をシステムにより迅速に行うことにより、行政事務の効率化、人件費の削減及びセキュリティの向上を図っていくものとする。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	改修	運用	市	生活福祉課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	情報システム課及びシステム会社と連携・協力し、システムを問題なく運用する。
--------------	---------------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	情報システム課及びシステム会社と連携・協力し、問題なく運用した。
--------	----------------------------------

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	法改正に伴うシステム改修が必要となった場合、かなりの費用を必要とする。 昨今の情報技術情勢に鑑み、常にセキュリティの向上に努める必要がある。 システムの不備は生活保護受給者の生活に大きく影響する可能性があるため、滞りなく運用される必要がある。 システムの特長上、受託可能業者が限られる。
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 平成27年度において保守期間の更新時期を迎えることから、セキュリティの向上及び効率化を更に推進するため、システムの改修作業を、事務に支障がないよう円滑に実施する必要がある。	

1. 基本情報

8-24

事業名	統計事務地理情報システム(GIS)の構築				評価者	商工振興課長 杉本 公明	
事業の概要	GISを活用し調査区や調査員の情報管理を行うことにより、事務の円滑化と正確な統計調査実施のための基盤をつくる。						
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名		
	導入・更改	運用	運用	市	商工振興課		

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	平成27年国勢調査調査区設定における地域特性の把握のための地図を作成する。
--------------	---------------------------------------

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	平成27年国勢調査調査区設定において、調査区及び単位区のエリアに世帯数を重ねて表示し、調査区の組み換えの参考とした。
--------	--

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	専門知識を要するソフトであるため、操作できる職員が少ない。また、全庁的に利用できる統合型GISが更新されたため、経費及び管理の面から、統合型GISに統合することも検討する必要がある。
-------------	---

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由> これまで紙の地図で行っていた作業をGISに置き換えることで、状況に応じて表示する情報を切り替えたり地図の見え方を変えるなど、より効率的な業務を行えるようになった点はA評価に値する。	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	B	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 統合型GISが更新されたことに伴い、統計調査を実施するのに必要となる業務の内容やシステムの操作性を把握したうえで、独自システムを維持するか否かについて検討する必要がある。	

1. 基本情報

8-25

事業名	下水道事業経営状況の公開			評価者	企業経営課長 菫塚 貴光
事業の概要	下水道事業の経営状況をホームページへ載せることにより市民に開かれた透明性の高い下水道事業運営を推進することができる。また、経営状況を公開することによって深谷市下水道事業の現状を市民の方々に理解していただける。				
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名
	運用	運用	運用	市	企業経営課

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	決算書の作成(4~6月)、議会の認定(9月)、市ホームページによる公表(12月)
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	1、決算書の作成 ・下水道事業における企業会計決算書の作成(4~6月) 2、決算議会報告 ・下水道事業決算の議会認定(9月) 3、決算及び下水道年報の公表 ・深谷市ホームページによる公表(12月)
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	なし
-------------	----

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由>

1. 基本情報

8-26

事業名	工事成績評定結果情報の提供			評価者	契約検査課長 村尾 厚彦	
事業の概要	市の公共工事における成績評定結果を市ホームページで情報提供し、工事の品質確保を図り、建設業の資質向上と工事施工の適正度を示す。					
スケジュール	26年度	27年度	28年度	推進主体	担当課(所)名	
	実施	運用	運用	市	契約検査課	

2. 平成26年度当初の計画

具体的取り組み内容と時期	平成25年度に完成検査を実施した工事の「工事成績評定結果」を整理し、深谷市ホームページにおいて情報の提供を行う。
--------------	--

3. 平成26年度の取り組み状況

取り組み状況	平成26年6月：平成25年度の「工事成績評定件数」及び「工事成績評定平均」を深谷市ホームページに掲載した。
--------	---

4. 課題・問題点(本年度に限らず事業全体を通して)

計画達成の障害となる点	
-------------	--

5. 計画期間における総合評価

総合評価	A	評価の目安 A: 計画通りまたは別の手段で実現(完了/目標達成)    B: 概ね計画通りまたは別の手段で対応中(継続) C: 計画より遅れているが達成に向け検討中(調整)    D: 計画より遅れており廃止を含め検討中(停滞)
	<目標が達成(完了)できなかった理由>	

6. 今後の方針(5.計画期間における総合評価がA評価の場合は任意、B, C, D評価の場合は必須)

今後の方針	A	A: 拡充(継続使用し、一層の推進を図る)    B: 再検討(ICT化(情報化)の方法等を再検討) C: 廃止(ICT化(情報化)の必要性がない)
	<理由> 平成27年度以降も、前年度に実施した工事の「工事成績評定結果」を深谷市ホームページにおいて掲載することにより、工事の品質確保及び建設業の資質向上を図っていく。また、平成27年4月に第1回目の表彰式を実施する「深谷市優秀建設工事表彰」についても、表彰対象の優秀技術者等を深谷市ホームページで公表していく。	